

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第3回 臨時理事会

日 時：2014年 5月 30日（金）18：00～18：42

場 所：コンセーレ J Cルーム

出席者：

- （ 理 事 長 ）：村上(敬称省略 以下同)
- （ 直 前 理 事 長 ）：福田(治)
- （ 顧 問 ）：山本
- （ 副 理 事 長 ）：朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
- （ 専 務 理 事 ）：中島(崇)
- （ 監 事 ）：澤畑、飯野
- （ 担 当 常 任 理 事 ）：金
- （ 全国大会招致会議議長 ）：
- （ 会員拡大会議議長 ）：太城
- （ 協働連携特別会議議長 ）：篠崎(達)
- （ 法令会計審査会議議長 ）：
- （ 事 務 局 長 ）：
- （ 委 員 長 ）：新妻、豊崎、鈴木、木村(武)、中島(晴)、相馬、飯沼
- （ 副 議 長 ）：宮林、渡邊、安野、高松、山田
- （ 理 事 ）：船見、青木、横島、岡田

- 1. 開会宣言 <村上>（役職名省略 以下同）
- 2. J C I クリード唱和 <新妻>
- 3. J C I ミッション唱和・J C I ビジョン唱和 <渡邊>
- 4. J C 宣言朗読並びに綱領唱和 <飯沼>
- 5. 関東地区宣言唱和 <豊崎>
- 6. 出席者の確認 <飯沼>
出席理事 26名／33名

7. 議事録作成人並びに議事録署名人の指名

議事録 <総務委員会>

署名人 村上 正高
澤畑 敦史
飯野 貴道

8. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

9. 理事長挨拶

<村上>

まずは18時という早い時間にお集まりいただきましたことに関しまして、私からも御礼を申し上げるところでございます。また、設営に関しまして、総務委員会の方々にはご迷惑をおかけして、早い時間から設営をしていただきました。本当にありがとうございます。そして福田直前理事は本日お誕生日であり、そんな日に臨時理事会に来ていただき、ありがとうございます。また、山本顧問におかれましても、関東地区の担いがあるなかで、ご多忙のところ、来ていただきましてありがとうございます。

まず、この臨時理事会は臨時という名前がついてはおりますが、この会で予算が執行されるという場がありますので、いささか欠席者・遅刻者が多いところは、少し自覚が足りないのかなというふうに思うわけでありまして、通常の理事会ならどうでしょうか、委任状を提出して代替りの委員会のメンバーが来たりというのが日ごろの理事会でありますから、そこはいくらこういった経緯があったとはいえ、しっかり気を引き締めていただきたいというふうに思います。そして、前回の理事会から色々な経緯、議案のほうの問題もありまして、こういった臨時理事会を開催しなくてはならない事態になったわけでありまして、私もこの二日間振り返っておりまして、何に問題があるのか、これはやはり皆の責任だと思えます。一番悪いのはもちろん私ですが、私ももっとしっかりしなくてはいけないなというふうに思いました。もちろん、専務理事・副理事長にそれぞれのグループのラインをお任せしているの、専務理事・副理事のそれぞれのラインの事業計画というのはしっかり目を通して、しっかりと自分の名前を書く確認日というのがあるわけですから、自分たちの担いをまっとうしていただきたいと改めて思うわけでありまして、理事会等、それ以外の場所でも意見を聞いていると気になるのが、少し否定的な意見が多いのかなと実は思うのです。それじゃだめだよというニュアンスの意見が、思い出すとすごく耳に残っているのです。JCであればどんどんチャレンジしていいと僕は思っているのです。その事業計画、それぞれの委員会・担当があってもこれは宇都宮JC全体でやる事業計画ですから、この理事会で意見を出し合って審議を取るわけでありまして、この会議以外の場、もちろん事前配信をしているわけでありまして、気になるところがあったら、仲間として委員長・副委員長が横のつながりを持っていろんな意見を出し合って、より発展的にな

るような、そんな仲間意識を持ってほしいなと思いますし、他の委員会の議案に対しても、自分たちの事業であるのは間違いないわけでありますから、当事者意識をぜひ持っていたきたいなというふうに思いました。私も所信に、『市民の当事者意識の欠如』という言葉を入れさせていただいておりますが、この会のなかで当事者意識が持てなければ、我々は市民に対して当事者意識を持ってもらうような、そんな運動はできるわけがないというふうに思うわけであります。今回の臨時理事会、これを一つのいい機会として、2014年のちょうど折り返しの時期でもありますので、この臨時理事会を機に心をもう一度改めて、そして心をひとつにして後半戦を臨んでいきたいというふうに強く思うわけであります。本日の理事会、審議事項が1本というわけでありますが、どうか慎重なる審議、会の進行をよろしく願いいたします。

10. 直前理事長挨拶

<福田(治)>

まずはお集まりをいただきまして、まことにありがとうございます。私も30日といわれた時点で、ああ30日か、という気持ちではいましたが、日にちを指定してやることを許すわけにもいきませんので、それをいったとかいわないとかいう以前ではなく、皆さんがこうして集まるのであれば、喜んで参加させていただくつもりで今日も来させていただきました。また、専務グループの委員会メンバーの皆様、なぜ集まらされているのかという理由が本質的にわかっているかもわからないなかで、これだけ多くの皆様にお集まりいただいていることは、賞賛すべきことだと思います。本当にご苦勞様でございます。やはり専務理事もそうですが、まずはこれだけの人を巻き込んでいるということをしっかりと心に焼き付けてください。他の委員会の皆さんも豊崎委員長が上手じゃないからこうなるのだよね位の感覚ではなく、これはひとつ間違えればそれぞれの委員会の委員長の皆さんにも同じことが起きるわけであります。これは他人ごとではないですし、村上理事長が先ほど当事者意識というふうに仰いましたが、多分そのグループの縦割りがセクショナリズム的になり過ぎている部分があると思います。今までみていて、とりあえず理事会で審議を取れば勝ちだという考えで、中身がたいしてできあがっていなくても小手先で責めるやり方というのは、ここ数年の宇都宮JCの理事会では、絶対に否決されたりとか、白票が上がったりとか、通らないです。それは我々もそうですが、これだけ皆さんが代々続けてそういう教育をこのJCのなかで受けているからこそでありますし、そのライン、そしてその担当委員会のなかで、若干でも手抜き感があると通らないし、誰も認めない。それがこの宇都宮JCのいいところでもあります。ですから一つひとつの事業に全員が胸を張って市民の皆さんのためにいいことをしているというふうになれるわけでありますし、それが感じられない、一生懸命やっていないと、本当に馴れ合いで通すというのはしないと思いますので、今回その点はみなさんもわかったと思いますが、再度認識をしていただきました。

いというふうに思います。本当にこれは他人ごとではない、全員が当事者意識を持っていただきたいと思ひますし、その意味でもおそらく中島専務は通してください、お願いしなすというわけではなく、そういうことをわかつて欲しいからやっていたのだと思ひます。先日もお話ししましたが、専務グループは理事長親衛隊であり、理事長のためのエアフォースワンのチームだと僕は思っております。その専務グループがぼけると、理事長に泥を塗る話になるからこそ皆がここまでお付き合いできるわけですので、是非そのことをしっかりと胸に、この会の運営のためにみなさんは力を全力で發揮してください。

今日のこの臨時理事会がより実り多きものとなることを心より祈念申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。我々一人ひとりが宇都宮そのものです。本日は最後までどうぞよろしくお願ひいたします。

1 1. 審議事項

審一〇一 6月例会 第64回ASPAC山形大会対応計画ならびに予算(案)承認の件

審議資料に基づき、豊崎委員長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> まずは常任理事、事務局長が欠席になつていますことをお詫び申しあげます。その上で私の方から補足させていただきますが、さきほど委員長のほうからお話がありました大きな変更点2点、映像の製作中止とジャパンナイトでのブースの設営ということですが、この目的・背景を再度み直したなかで、事業内容を再考いたしました。『世界とのつながりを啓発する』というところを目的といたしまして、このブースの設営にあたっていきたいと考えております。細かい部分に関しては事業内容のなかで交流の流れ等と記載させていただきました。そちらをご一読ください。

<村上> 意見を頂戴する前に、色々と変わつている部分がありますので、6月2日の山形大会のガイダンスから例会が始まり、そしてASPACのなかで何をやりどのように目的を達成していくのかというところを時系列で簡潔にご説明願ひます。

<豊崎> まず6月2日に宇都宮コンサーレにおきまして、ASPACガイダンスと題した説明会を設けております。こちらは外部協力者の国際会議支援委員会さ

んよりASPACの魅力、概要、目的などを伝えていただく内容となっております。次に6月4日から7日まで、ASPAC山形大会、木曜日から土曜日の開催となっております。6月6日の金曜日にジャパンナイト・各国ナイトを同じ会場で開催いたします。時間は19時から21時30分までとなり、そのあと同会場でマレーシアナイトと台湾ナイトが開催されておりますので、こちらは交流を目的としまして、『世界とのつながりの啓発』というところを感じ取れるようにと考えております。ASPAC大会はすべての期間を例会としております。委員会としては、このジャパンナイトのブースの出展と、各国ナイトの運営の方を主に開催をさせていただきたいと考えております。

<鈴木(善)> 事業目的体内の『世界レベル・国家レベルでのJC運動に触れ』という文言ですが、ASPACでその表現というのは正しいのかなと思いました。ASPACとは、先ほど豊崎委員長が説明した世界4つの分類にわかれていて、そのなかのアジアという部分に関していえば、世界レベルではなくアジアレベルでの交流になると思うので、世界という表現が正しいのかという質問になります。もうひとつは外部協力者の日本JC人材グループ災害復興支援委員会さんというのは、この議案のなかでは何をやることになっているのかの説明をお願いします。

<豊崎> まず世界レベルという表現は、世界4つの地域にわかれており、アジアはそのなかの一つというふうに判断しております。それで世界と記載しております。2点目は私のほうの説明不足でして、今回6月7日土曜日14時より、絆フォーラムというファンクションがございます。宇都宮JCより大塚幹夫君、渋谷恵一朗君が出向している委員会となります。そちらの委員会のほうで絆フォーラムの設営をされているということで、委員会のほうのASPACガイダンスの説明のなかで絆フォーラムのPRという形で来ていただく予定となっております。

<村上> 絆フォーラムとASPACの関係性はどのようなものなのですか。

<豊崎> JCIの方でも災害復興支援ということで活動しておりますが、この絆フォーラムは被災地の福島の方で復興支援という形でやっており、この絆フォーラムのなかでコンサートを開く内容のものとなっております。被災地に元気を届けようというファンクションで、ASPACの恒久的世界平和というところの観点から、世界とのつながりというところでそのような関係性となっております。

<村上> 要するにこれはASPAC山形大会が、被災地である東北で開催されるというところで、日本JCがASPACの大会期間中に復興支援の絆フォーラムをやるという理解ということですね。

<朝田> 議案上の時間と、閉館時間と退出の時間、また案内文の閉館時間がすべて違いますが、これは統一していただくということによろしいでしょうか。

<豊崎> 大変失礼いたしました。修正させていただきます。

<村上> どの時間が正しくなりますか。

<豊崎> 閉会時間の21時30分が正しいものとなります。退出の方は21時13分が正しいものとなります。

<村上> 質問ですが、例会は19時からやっているのですが、19時30分スタートとなっています。これには理由があるのでしょうか。

<豊崎> セレモニーの準備を入念に行いたいという委員会の判断で遅らせております。

<中島(崇)>理由にならないので19時スタートにしてください。

<村上> 例会は通常どおり、開会19時の閉会21時で修正をお願いします。

<羽石> 意見ですが、今回ASPACということでアジア各国の方がいらっしゃると思います。イスラムの方は宗教的な観点から見ると、餃子は豚肉を使っていることが多いと思いますので、その表記をするか、もしくは別のものを提供するか、時間がかぎられていますが、業者の方と打ち合わせをしていただきたいと思います。

【採決】 全会一致 審議可決

<豊崎> 明後日の6月2日月曜日、コンサーレにおきまして19時よりASPACガイダンスと称したASPAC山形大会のPRおよび説明会をさせていただきます

ます。本当に時間のないなかでの設営、準備となってしまいますが、委員会一同精一杯頑張らせていただきたいと思います。このガイダンスを聞いて、山形に行きたいと思う方が1人でも多く出て来ていただけると信じております。ぜひとも皆さんで山形の方に行きましょう。お願いいたします。ありがとうございました。

1 2. 協議事項

なし

1 3. 報告依頼事項

<中島(崇)>第6回理事会 6月25日(水) 19:00～ コンセーレ

1 4. 監事講評

<飯野>

まずは総務委員会の皆様、本当に急な臨時理事会の開催にも関わらず、設営にお力をいただきましてありがとうございます。ただ、オブザーブをするのであれば、プレートやバッチ等をしっかりと付けていただくよう、今後気をつけていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、ようやく6月例会の審議がすべて通ったわけでございます。最後に皆様の拍手で終わりましたが、あまりこのようないい方はよくないかもしれませんが、私はあまり拍手ができるような気持ちではなくて、というのも、例会が6月2日の明後日で、案内文はこれから流すので、議案書を拝見すると5月30日に流すとのことですが、事前に口頭で変更等が伝わっているとはいえ、もしかしたら伝わってないメンバーは、この案内文ではどう思うのか、もし私がほかのメンバーの方でこの案内文をみたとしたら、一体どういうつもりでこのような日程で急に案内文を流してきたのだと、ふざけるなと思うと思います。豊崎委員長には申しわけないのですが、今回この議案がこれだけでもめたのは、議案の内容にどうも引っかかる場所があり、納得いかない部分があったので、なかなかすんなりと通らなかったというのがあったと思います。今日この場では、やはり豊崎委員長の思いですとか言葉を理事会メンバーがお聞きしたからこそ、無事に審議が通ったわけですが、一般のメンバーにはどうしてもこの委員長の言葉は届かない。ただ案内文だけが流れてきて、内容もよくわからずに来てしまうこともあると思います。そうしたときにメンバーが納得

いかない部分がどうしても出てきます。じゃあどうするかというと、この議案の最終責任はこの理事会メンバー全員が持つものですので、しっかりとこの理事のメンバーの皆様から一般のメンバーに、この趣旨や豊崎委員長の思いや、どうしてこういうことをやるのかというのをきっちり伝えていただくしかないと思います。そしてそれがこの理事会メンバーの責任でもあると思います。6月2日の例会の日まで、本当にもう時間がございません。これからリハーサル等、急いでやらなくてはいけなかったり、豊崎委員長や委員会の皆様はまだまだ大変だと思います。ただ、時間がないからセレモニーに間違いがあつていいとか、そういうことは一切ございません。また、こういった非常に厳しい状況だからこそ、このような困難にぶつかったときに、やはりその人々の力が試されているときだと思います。この理事会構成メンバーの皆さんの力で是非、時間はないですが、素晴らしい例会にできるように力を合わせて動いていただければと思いますし、私も今日の幹事講評でありますので、本当に素晴らしい例会になることを心より祈っておりますのでよろしくお願いいたします。

15. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第3回 臨時理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
 澤 畑 敦 史
 飯 野 貴 道